

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 05 01	中期総合計画主要施策番号		3-05		担当課	部・課	社会部障害者自立支援課	
事業名		グループホーム等整備事業				内線		2404		
						E-mail		seikatsu-shien@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・障害者が地域で暮らす生活の場(グループホーム)の設置を促進する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】								
		・入所施設の入所者や精神科病院に入院する者等が地域で生活するための生活の場が不足している。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】								
	・社会福祉法人等がグループホームを整備する際の建設費等の負担が大きいため、整備が遅れている。									
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】								
		・グループホームの施設整備費を助成することにより、障害者の生活の場の確保を行う必要がある。								
	事業内容	・障害者が暮らす生活の場を確保するためのグループホームを新たに設置する際の新築・改修に係る費用に対して、国庫補助事業(社会福祉施設等整備事業、障害者就労訓練設備等整備事業【国】1/2【県】1/4【事業者】1/4)と県単独事業(障害者グループホーム整備事業【県】1/2【事業者】1/2)により補助を行う。								
	実施期間	H14 ~		根拠法令等	社会福祉施設等整備事業障害者グループホーム等施設整備費補助金交付要綱、障害福祉計画					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	・障害者が自ら望む地域で生活の場を確保する。 (障害福祉計画における目標値: ・23年度末障害者グループホーム定員数 2,193人分)		・21か所のグループホームの施設整備を行う。			・緊急経済対策で1件前倒しにより実施。 ・21か所の整備を行い、新たに126人の定員が確保され、23年度までの目標に向け、着実に整備を進めている。 (H21.4.1現在の定員数1,579人)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	198,098	224,263	161,575	国庫・県単	国庫・県単		
	決 算 額 (B)		千円	175,301	211,811		実施方法	補助		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	175,301	82,173	125,075	歳出節別			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	内訳等	補助金:211,811		
	概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	176,729	213,241	163,005	(単位: 千円)	(21年度への繰越額 9,191)		
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	施設整備箇所数(実数)		か所	27	21	29				
	整備箇所の定員数(実数)		人	159	126	158				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・引き続き、地域生活に移行する障害者の生活の場を確保するため、ニーズは横ばいである。 ・国庫補助事業の採択に伴う調整を行った。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・20年度からの国庫補助事業の創設に伴い、採択枠の確保や効率的な整備を行うため、優先される条件等を設定し、整備を進めているが、グループホームの報酬単価の改定や、今後の障害者自立支援法の見直しによるニーズの変化が予想されるため、事業者の動向等の把握や今後の整備の方向性を検討する必要がある。							